

平成30年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制の課程 国際教養科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1～5名・評価者3名の面接 (1グループ12分程度)
(4) 海外在住状況 説明書	実施要項(様式7)により、海外在住期間及びその前後の 教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値に、才及び力について加点(上限30点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で算出した数値で評価する。 3年次に、評定1の教科がある場合、または英語の評価が 評定3以下の場合は審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の資料とする。
エ 特別活動の記録	総合的に判定する際の資料とする。
オ 部活動の記録	①部活動(10点満点) ②各種検定(10点満点) ③各種コンクール(10点満点)
カ 特記事項	以上の3点について、一定の基準を満たすものについて 加点する。
キ 総合所見	総合的に判定する際の資料とする。

(3) 面接 [30点満点]

3名の評価者が次の3つの評価基準に基づき、A(優れている)・B(標準的である)・
C(問題がある)の3段階で評価し点数化する。3名分を合計したものを評価点とする。
2名以上がC評価の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 目的意識	学習や部活動への意欲、将来の目標が明確である。
ウ 適性・態度	質問内容を把握し適切に回答することができる。服装や身 だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付い ている。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	出国前・海外在住中・帰国後の教育歴について資料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査及び学力検査、面接検査の結果を資料とし、本校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。